

JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2023 3

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者/川嶋高志 発行年月/2023年3月



上州武尊

INDEX

- 2~3..... 第35期第1回評議会の報告②(地方連盟の活動)
- 4..... 部局・専門委員会の活動
- 5..... 2月の事故一報一覧、季刊・登山時報のご案内
- 6~7..... 2月の労山基金交付一覧
- 8..... 全国連盟の活動と予定など

「白銀の獅子ヶ鼻山を目指す」

獅子ヶ鼻山は上州武尊の前峰にあたる山であり、残雪期限定の山である。今年は特に雪が多く、登山は大変であった。ようやくたどり着いた頂には、剣ヶ峰が目前に迫り、上州武尊の絶景を楽しむことができた。

(城代隆良・太田ハイキングクラブ/群馬)

「平和と自然がとても大切、今こそ山へ！」

第35期第1回評議会 地方連盟からの活動報告(前編)

本紙2月号につづき、評議会(2023年2月18・19日・東京にて開催)での発言をご紹介します。

■道央連盟/安東仁志・評議員

道央連盟の各部会は、積極的に行事に取り組んでいる。クライミングエリアである小樽赤岩地区では、トイレ建て替え運動(署名)を開始した。「北海道登山研究集会」は第51回で継続して取り組んでいる。2023年は北海道勤労者山岳連盟60周年記念行事を帯広で開催予定。7月に全国救助技術交流集会が北海道で開催される。皆さん、ぜひ参加してほしい。

■道東連盟/大谷享・評議員

道東としての報告ではないが、地球温暖化問題が気になる。北海道でも海の気温が上がり、鮭やサンマがとれなくなり、ブリばかりとなった。阿寒湖も冬に凍らなくなり、世界最大級のマリモが死んでしまう恐れがある。

■岩手県連/平井正・評議員

岩手県では全体で8名の会員減だが、増えた会と減った会がある。減らした会は、会員の高齢化や、会内の問題が原因だ。増やした会では、盛岡山友会では登山教室を改善した。今までは座学1回、実技2回で修了だったが、それを4か月間、10回のカリキュラムへ変更した。市の広報にも掲載して、36名が受講、10名が入会した。胆江労山では、HPを改善して会山行を掲載。それを見た20~40代の若い人が入会した。会員拡大のカギは、登山教室とHPの充実だ。

■宮城県連/岡良一・評議員

2011年に243名だった宮城県連は、大震災や山での遭難事故の影響もあり、2015年には113名に減った。その後、2022年は136名と微増である。特筆すべきはココヘリの普及で、県連会員の2/3が加入している。県や市と連携しての森林パトロールや「みちのく潮風トレイル」の巡視も実施。昨年は東京・神奈川・埼玉から参加者を迎えて登山道整備を行った。今年は県連50周年行事の一環で、北アルプス・伊藤新道の登山道整備も予定している。

■群馬県連/富澤士郎・評議員

谷川岳のクリーンハイク、県民ハイクを行った。台風やコロナで中止続きだったのを、昨年は会員のみで実施できた。会員拡大にもつながるので今年は一般の人も迎えて行いたい。秋に山フェスタを開催し、5,500人(2日間)の来客者へ、リーフレット等を配布した。安全登山・ステップアップ・地図読み・雪山など講習会やイベントを開催。ぐんま県境稜線トレイル安全等確認調査を行っている。

■栃木県連/鈴木光子・評議員

栃木県連で今年度、初めて公開ハイクを実施した。参加者は6~7名で、入会者はいなかった。私が所属する野木山想会では、昨年12名の入会があった。公開ハイクを2回行い、それが実を結んでいる。アンケートに「あと2~3回参加してから入会を考えよう」と書いた人に次回の公開ハイクを呼びかけ入会につながった。入会してもやめる方もいるので、フォロー山行を3回程実施し、山に行けるようになってもらっている。

■茨城県連/高橋勝美・評議員

コロナの影響もあり、茨城県連の繰越金が増えたので、総会で決議して、各会への返却や、行事参加への補助などを、いま行なっている。高齢化で交通手段が無くなった方に対し、「山登りをあきらめないようにしましょう」と打ち出し、県連行事では交通手段の確保をしたら、参加者が増えた。教育では「ハイキングABC」を全会員に配布すると決定。既に持っている会員は身近な人にプレゼントして労山を宣伝してもらい、ABCをもとに勉強会を開催予定。

■埼玉県連/瀬下啓司・評議員

埼玉も、通常の組織委員会に加えて特別委員会を設け、会員拡大に取り組んだが、県連で20名弱減った。しかし、年末年始に2団体・11名増えた。QRコード付で名刺大の埼玉県連チラシを5万枚印刷した。会員1人あたり80枚を配布し、一般ハイカーに配っている。高齢化が進み後継者がいない状態だ

が、前を向いてしっかりやりたい。今年は県連会員が一同に会する登山祭典を10月に長瀬で実施。インドヒマラヤ埼玉県連登山隊もGWに派遣する。隊長は、インド出身の会員で、元全国連盟海外委員長も参加する。今年だけではなく、毎年やっていきたい。来年の総会に向けて“埼玉のおすすめの山50”という冊子(沢・岩を含む)を各会の協力を得て作成中。人とのつながりを大切に、前向きにがんばっている。

■東京都連盟/栗原英一・評議員

東京都連盟の会員数は106団体・2366名だが、横の結びつきを作るのに苦労している。加盟会が多いので、中間組織として地区連盟を組織しているが、その活動が弱体化している。高齢化で活動が困難になっている。各会も人材を送り出せなくなっている。しかし、都連盟全体では会員27名減だが、脱退した3会計32名を除くと、5名増えている。東京都連盟も、それなりにがんばっている。メイン尾行事では、「タイムトライアル登山」を高尾山で行い、今年は参加者が増え80名だった(昨年48名)。

■千葉県連/野田久生・評議員

千葉も高齢化が進んでいるが、名案なく困っている。去年は8/11の「山の日」に、県山岳3団体で、3年前の台風で荒れた房総の山を復興しようと、田中陽希さんと呼んで講演会を共催した。千葉県で3団体の合同の取り組みは初めて。今後も房総の山復興を共同してやろうと、今年から活動を始めている。いま、千葉の警察には山岳救助隊がない。せめて警察に登山届の受付窓口だけでも設けてもらおうと、3団体で取り組みを始めた。教育分野では、県連でオンライン講習会を4回実施して好評だった。今後も、労山基金や海外登山などの講習で、継続したい。

■神奈川県連/植田米利子・評議員

神奈川県全体では、会員数が微減だが、増やしている会もある。HPの効果大きい。HPを更新し、新入会員にていねいな講習を行う会は増えている。県連で「山岳講習協議会」を発足させ、会の意見を吸い上げたり、会どうしの交流の場となっている。県連HPもリニューアルした。教育面では昨年から見直しを行い、教育部が救助隊メンバーとともに基礎を重点に行っているが、中級レベルに応えることも課題になっ

ている。自然保護委員会も3年ぶりに丹沢クリーンハイクを実施した。里山をウォーキングして身近な自然観察も行った。丹沢の山小屋に泊って実態を知る企画も行っている。県連運営では後継者育成が大きな課題だが、がんばっている。

■長野県連/山岸富佐夫・評議員

長野県連は、組織運営の困難さに直面している。担い手がいなくて、県連役員を2年で交代する輪番制とした。県連の会員数もピーク時の半分ちかくなかったが、それでも平均年齢は他県より若い。会によっては若者を確保している。長野県は南北に広いので、県連の運営も今年度は全てオンライン会議で行い、総会もその予定だ。「本当にそれでいいのか」が課題だ。講習会や教育も遭対関係者が頑張っており、若い人をつなぎとめている。

■静岡県連/海野美春・評議員

静岡県では会員数減少が続いたが、今年は10名以上減った会もあったものの、他の会が増やして、全体では3人減でおさまった。会員拡大では、コロナで登山教室が開けなかったなか、各会に協力を求めている。静岡県連では「くんだり・落ち葉」が合言葉のように同じような事故が続いている。各会に「自分だったらどうする？」と問うよう啓発したい。夏山前の6月には、野口いづみ先生の講習会を実施する予定。静岡県はリニア新幹線問題の渦中にあり、今後も反対運動には力を入れて取り組んでいきたい。

■評議会とは??

総会に次ぐ決議機関で、2年に1回以上、理事会の決定により理事長が招集。連盟の諸活動の具体化や補充役員の選出などを審議決定します。

■評議会の「決議・決定集」

各会・クラブへ1冊配布できるよう地方連盟へ発送しました。PDF版もJWAFホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。内容…全国連盟の総括と方針、組織状況、財政報告、事故概況、労山基金の登録と交付状況を表やグラフにまとめています。

部局・専門委員会の活動

■ 遭難対策部

2月に2名の死亡事故が発生

3月1日の遭難対策部会での事故一報は、10件10名。事故報告は、10件と少なかったが残念ながら2件の死亡事故が発生した。石川県の白山山系で山スキー中に心疾患で倒れた事故と広島県の十方山で発生した滑落事故。ヘリ搬送や救急車で病院に収容し死亡が確認された。事故一報の段階なので詳しい状況は、今後の報告により判明すると考えているが、この一報から見えてきたことは、パーティ内での判断と対応はどうだったのか疑問を感じている。山スキーでは、リーダーが山行開始当初に75歳の事故者から離れ倒れたところを見ていない。同行者の体調を確認し出発してからも様子を見る事が必要である。十方山では、下山予定時刻に遅れFIXロープを張り渡させたが、ロープに自己確保していなかったようだ。何らかの対応・対策は無かったのか。今後の詳しい報告により事故の教訓を伝えて頂ければ、次に繋がると思っている。

この2年間、心筋梗塞や狭心症で死亡する事故が続いて発生している。今年も虚血性心疾患による死亡事故が発生した。自覚症状が無い場合もあるが、自身の体調に注意し日頃より生活習慣の改善やがん検診も含めた健康診断の受診を心掛ける事が大切である。

(遭難対策部長・石川昌)

■ 自然保護委員会

第21回全国登山者自然保護集会在昨年11月に開催

コロナ第7波がようやく収まりかけ、新たな変異ウイルスの危惧がささやかれはじめた2022年11月12日-13日、日本勤労者山岳連盟事務所で第21回全国登山者自然保護集会在開催された。基調講演は元環境学会会長の和田武氏。メインテーマは「温暖化の防止と再生可能エネルギーの普及・脱炭素の取り組み」。温暖化による異常気象と生態系の秩序崩壊は、気象条件の変化が大きな影響を与える山岳域に顕著に現れる。自然保護委員会は2008年の第14回自然保護集会在(丹沢)、2010年15回集会在(青梅)と専門家を招き、早くから問題提起し、登山者の

目線で数々の提言をおこなってきた。

今回はその集大成ともいべき講座で、オンライン配信と会場参加の併用形式であったが、参加者は熱心に聴講した。国際自然保護連合IUCNは世界8万8千の動植物のうち2万5千種が急激な気象環境変化による絶滅危惧に瀕しているという。和田先生が講演で「地球規模で考え、身近にできる取り組みから始めよう」と数々の具体策を挙げたが、労山会員も自分たちのできるところから、山岳環境保護の取り組みをおこなったらどうだろうか。

(自然保護委員・林祥介)

■ ハイキング委員会

奈良県連盟主管で開催！ 全国ハイキングリーダー学校

9月30日(土)～10月1日(日)開催の「全国ハイキングリーダー学校」は奈良県連盟の主管で開催することが決定した。今回は「高齢者登山・ハイキングを安全に進めるために」をテーマに、奈良県立医科大学豊田准教授が講義する。さらに「平和と登山」を中心に労山の歴史を学び、二日目の実技は「スマホ活用ハイキング」。いずれも労山幹部が講義する。定員は30名。会場は奈良ユースホステルを予定している。

(ハイキング委員長・田上千俊)

■ 労山基金運営委員会

2022年の基金運営報告

評議会の報告にあるように、22年度の労山基金交付件数は241件244名(前年比55件56名増)で、交付金額は30,684,310円(前年度比586万円増加)。寄付金の総額に対する交付金の率は48.6%で前年度は37.2%で11%の増加となった。寄付金を増やして事故を減らしていかないと安全対策引き当て勘定に回す事が厳しくなる。事故増の要因として考えられるのは、コロナ禍脱却につれて登山活動が活発化し、チャレンジ的の山行が増加している考えられるが、常に事故の大半を占め増加傾向にあるのは年代を問わず転滑落事故である。これを減少させるために労山独自の戦略を考える時期に来ているのではないだろうか。会員からの提案も期待したい。

(労山基金運営委員長・臼井邦徳)

2月1日から2月28日までに届いた事故一報

事故一報の受領順で掲載

| 事故発生日 | 地方連盟 | 年齢 | 性別 | 山名 | 山行形態 | 事故原因 | | 傷病名 | |
|-------|------|-----|----|----|-------|------|----|--------------------------------------|-----------|
| 1 | 1.14 | 道央 | 62 | 女 | アンヌブリ | 山スキー | 転倒 | コース外の山スキー練習で急斜面を滑走中転倒した。 | 胸椎圧迫骨折 |
| 2 | 2.5 | 長崎 | 78 | 女 | 九重・中岳 | 積雪 | 病気 | 目まいと息苦しさを歩行困難になり、ヘリで搬送された。 | 軽い不整脈の疑い |
| 3 | 1.22 | 東京 | 40 | 男 | 三方岩岳 | 山スキー | 転倒 | 急斜面の滑走で約1.5mの段差に気付かず転倒した。 | 右足前十字靭帯断絶 |
| 4 | 2.5 | 石川 | 75 | 男 | 白山山系 | 山スキー | 病気 | 後続が来ない為、300m戻って探し倒れている事故者を発見。ヘリ搬送する。 | 虚血性心疾患・死亡 |
| 5 | 2.5 | 東京 | 63 | 男 | 白馬乗鞍岳 | 積雪期 | 凍傷 | 白馬乗鞍岳に登頂後、左手親指が白化したことに気付いた。 | 凍傷 |
| 6 | 2.3 | 福岡 | 74 | 女 | 背振山 | 無雪期 | 転倒 | 車より降車直後、アイスバーンに滑って転倒した。 | 頭部裂創 |
| 7 | 2.8 | 京都 | 67 | 女 | 室内ジム | 人工壁 | 転落 | クライミング中、転落し頸椎を損傷した。 | 首の頸椎損傷 |
| 8 | 2.14 | 和歌山 | 71 | 女 | 矢筈岳 | 積雪期 | 転倒 | 倒木に足を引っかけて滑り、転倒した。 | 右腕の裂傷 |
| 9 | 2.19 | 道央 | 61 | 女 | 能取岬 | 氷瀑 | 墜落 | スクリュウ設置に手間取り氷柱が崩壊して墜落した。 | 左腕裂傷他打撲 |
| 10 | 2.26 | 広島 | 39 | 女 | 十方山 | 積雪期 | 滑落 | 足場が悪くFIXロープを張り渡らせたが、足が滑り滑落した。 | 死亡 |

| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 90代 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 |
| 女性 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 0 | 7 |
| 合計 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 4 | 1 | 0 | 10 |

| | 無雪期 | 積雪期 | 氷瀑 | 山スキー | 登攀 | 海外登山 | 人工壁 | 訓練 | 合計 |
|----|-----|-----|----|------|----|------|-----|----|----|
| 男性 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 女性 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 |
| 合計 | 1 | 4 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 10 |

| | 墜落 | 転落 | 滑落 | 転倒 | 体勢 | 凍傷 | 病気 | その他 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| 女性 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 |
| 合計 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 | 1 | 2 | 0 | 10 |

| | 骨折 | 脱臼 | 断裂 | 捻挫 | 裂傷 | 心疾患 | 損傷 | その他 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 女性 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 | 7 |
| 合計 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 4 | 10 |

2023年春より、『登山時報』は季刊誌として新たに出発します

購読ご希望の場合は以下の案内をご覧の上お申し込みください。

よろしくお願いいたします。

【年間購読料】

1部 1,200円(年4回発行、送料・税込)

・A4サイズで40頁・横書きの様式です。

・会クラブ毎にまとめずに、購読者のご住所へ個別にお届けします。

【お申し込み方法】

下記いずれかの方法でお申し込みください。

1) 専用 Web フォーム (JWAF ホームページ又は QR コードからご覧ください↑)

Web フォームからの申込後、指定口座にご購読料をお振り込みください。

振込には Web フォーム申込後に発行する「購読受付番号」が必要です。

2) 郵便局備え付けの払込取扱票利用

通信欄に次の項目をご記入の上、希望部数分のご購読料をご送金ください。

① 購読者氏名 ② 購読部数 ③ 送付先住所 ④ 電話番号またはメールアドレス

送金先口座: 番号 0120-8-108163・加入者名「労山機関誌委員会」

【お申込み締切】

2023年春号: 2023年4月17日まで。(夏号以降はまたご案内します)



季刊・登山時報
購読のご案内

春号の特集は…

★全国登山研究集会

記念講演『伊藤新道の復活・北アルプスの山小屋の過去、現在、未来』伊藤圭さん(三俣山荘支配人)、各種分科会

★第35期第1回評議会

概要、地方連盟の活動報告やアンケート、新設された登山道整備補助をご紹介します

★その他、「2022年の事故分析」、「ITと登山技術」など!

労山基金 2023年2月交付認定の一覧

| No. | 地方連盟 | 口数等 | 事故発生日時 | 山域・山名・場所 | 山行形態 | 事故原因 | 事故状況 | 傷病名 |
|-----|------|--------------|-----------------------|--|---------|------------------------------------|---|--|
| 1 | 兵庫県 | 60代男性 5口 | 2022/02/05 19時30分頃 | 中国地方 大山 8合目付近 | 冬季登攀 | 凍傷・荒天 | 15:15別山頂上。ナイフリッジでK氏滑落。60分程でKは登り返し稜線までヘッドンを点けてラッセル。19:30頃、夏山道8合目付近でK動けなくなり二人用ツエルトでピバーク。Mから会メンバーに救助要請、ツエルトが飛ばされる。一人用ツエルトをKに被らせMはラッセルをしながら6合目小屋まで下山。 | 両手指凍傷 |
| 2 | 神奈川県 | 40代女性 3口 | 2022/02/11 | 妙高 大毛無山 山頂直下1200m付近 | 山スノーボード | 衝突 | バックカントリートを想定した非圧雪滑走のトレレニングのためにリフトトップより30分ツボ足で歩いたところより滑走。直後に立木に衝突し骨折した。 | 大腿骨骨幹部骨折 大腿骨遠位端骨折 |
| 3 | 香川県 | 60代女性 5口 | 2022/03/10 09時00分頃 | 中国地方 御林山 人形峠登山口 | 積雪期登山 | 転・滑落 | 登山口の地面が凍結していた。滑って転倒した時に手をついた。 | 左橈骨遠位端骨折 (左手首) |
| 4 | 神奈川県 | 50代男性 10口 | 2022/03/06 12時15分頃 | 静岡県 城山 南壁 | 登攀 | 転・滑落 | 城山南壁ホームボーイ(5.7)の最終中間支点付近の乗込みで3mほど滑落し、段差にて右足首を捻った。 | 右足脛骨骨折(ひび) |
| 5 | 東京都 | 40代女性 10口 | 2022/03/07 10時30分頃 | 奥秩父 二子山 東岳二段岸壁 ワーカーホリック (5.10b) | 登攀 | リードクライミングに イミダグに おける フォール | リードクライミング中(6ピン目の上)、足がロープの内側に入った状態でフォールした際、左手(指)が岩に引っかけ、左小指、薬指等を損傷。ピレイヤーがロープを引下ろし、その場で止血。自力で登山口まで下山後、救急車(事故発生約1時間後)とドクターヘリで病院に収容。 | 左小指指動脈損傷 左小指指神経損傷 左小指腱損傷 左手挫創 |
| 6 | 京都府 | 70代女性 3口 | 2022/04/22 13時35分頃 | 近畿地方 ポンポン山 東尾根～杉谷に降りる 道 | 無雪期登山 | 転倒 | ポンポン山の東尾根から杉谷分岐道を5分程下った所で右足が滑り足首が捻れた状態で尻餅をつく。靴の上から三角巾で固定し、東海自然歩道巡り歩きそこから車で帰る受診。骨折を指摘され25日総合病院にて入院手術、3週間の入院、リハビリ予定と診断される。 | 右足首3箇所骨折 |
| 7 | 新潟県 | 50代男性 10口 | 2022/04/26 16時00分頃 | クライミングジム | 人工壁 | 転・滑落 | 最終ホールドに手を掛けたところ、左足が滑って4mの高さから落下。マットに降りたが、捻って自分の体重が右足にかかり骨折。 | 右足首距骨骨折 |
| 8 | 静岡県 | 50代男性 10口 | 2022/05/02 12時18分頃 | 北ア 立山 雷鳥沢標高2270m付近 | 山スキー | 転・滑落 | 剣御前小屋方面から雷鳥沢キャンプ場に向かってスキー滑走中、前方で雪面が切れ落ちていく(段差がある)事が確認出来ず高さ4-5mの雪壁から転落。直ちに110番通報し、富山県警山岳警備隊に救助された。 | 左肩の脱臼 右股関節の脱臼 |
| 9 | 道東地区 | 40代男性 10口 | 2022/05/15 10時30分頃 | 大雪山系 黒岳9合目付近 | 山スキー | 転倒 | 登っている時、キックターンで滑って転倒した際に左肩を打ち脱臼。 | 左肩脱臼 |
| 10 | 兵庫県 | 70代男性 10口 | 2022/05/05 15時31分頃 | 北摂・大峰山 遠見の道 | 無雪期登山 | 転倒 | 下山中、急な道の上の落ち葉に不用意に足をおき、滑って右足を強打した。右足は赤黒く腫れ、右膝と右顔が擦過傷になった。帰宅後、痛みが引かないので整形外科でレントゲン検査。骨に異常はななく、しばらく電気治療をすることになった。 | 右足打撲 |
| 11 | 大阪府 | 60代女性 10口 | 2022/07/02 07時02分頃 | 近畿地方 大杉谷 シシ淵 | 無雪期登山 | 転倒 | 下山時、シシ淵河原の岩でスリッパし、前のめりになり左腕を胴体の下に巻き込んで転倒。左小指を挟み込んで強打した。 | 左肘擦傷左小指第二関節脱臼 |
| 12 | 道央地区 | 50代女性 5口 | 2022/07/03 08時10分頃 | 北海道その他 白水川 標高570m位 沢中 | 沢登り | 転・滑落 | 入渓直後、倒木を踏んで超えようとしてスリッパし、後ろ向きに転倒落下した際に、地面に左手を突き左肘を負傷。 | 左肘脱臼(骨の見える程の症状) |

| | | | | | | | | |
|----|------|-------------|-----------------------|--|----------|------|---|--------------|
| 13 | 兵庫県 | 70代女性 5口 | 2022/07/24 09時30分頃 | 八ヶ岳 赤岳 文三郎尾根 | 無雪期登山 | 転倒 | 下りで、左足を滑らせ、右膝をつく形となり、転倒、右足首を捻る。 | 右足首腓骨剥離骨折 |
| 14 | 兵庫県 | 60代女性 5口 | 2022/08/29 12時20分頃 | 北ア 奥穂高岳 穂高小屋まであと少しの岩場(2つの階段のち、鎖場ある付近) | 無雪期登山 | 転・滑落 | 頂上からチーム5名が下山中、下りの行程で少し渋滞していた。梯子をおり数歩のところまで最後尾メンバーが転倒し、後ろから2番目を歩いていた当人と接触し、約10m滑落し停止。小屋からもちろぐ救援が駆けつけ、小屋へ搬送。 | 骨盤骨折 |
| 15 | 岐阜県 | 70代女性 3口 | 2022/10/08 11時35分頃 | 鈴鹿山系 仙ヶ岳 御幣川 | 無雪期登山 | 転倒 | 準備体操後に登山を開始。林道の終点から登山口に入る所で、幅3m位の沢を石の上を渡って横断する所で、濡れた石に足を掛けて滑り、転倒した。左手が痛むので、添え木をしてエラスコットテープでテーピングの処置をし、20分程度歩いて昼食。その後安全を取って下山し、病院の診察を受けることにした。 | 左手 橈骨遠位端骨折 |
| 16 | 神奈川県 | 70代女性 5口 | 2022/10/29 14時30分頃 | 奥武蔵・秩父 榛ノ折山 滝ノ平尾根 標高400m程の地点 | 無雪期登山 | 転倒 | 尾根道の斜面を下っている時に、木の根につまずいて前のめりに転倒した。腕で支えきれずに胸を地面に打った。 | 右第5肋骨骨折 |
| 17 | 静岡県 | 50代女性 5口 | 2022/10/30 09時30分頃 | 南ア 甘利山と先頭星山の間 の下り坂 | 無雪期登山 | 転倒 | 山行前日・当日共に天候が良かった為、登山道は歩きやすく、油断した。先頭のメンバーを追い掛けようとして登山道を走り、下り道に足が根っこにつまづき、うつ伏せに転倒。転倒の際、顔と体が地面に当たらないよう、手を地面につき、手のひらから肩まで大きな打撃を受けた。 | 右腕腫れ、捻挫 |
| 18 | 岩手県 | 60代女性 5口 | 2022/11/06 10時00分頃 | 早池峰山系 姫神山 一本杉コース | 無雪期登山 | 転倒 | 傾斜が急な登り坂で、落ち葉の下の黒土ですすべって転倒し、右肩を負傷。 | 右肩骨折 |
| 19 | 青森県 | 70代女性 1口 | 2022/11/20 14時05分頃 | 青森県 東岳 宮田登山口から約1.5km 地点の登山道 | 無雪期登山 | 転・滑落 | 東岳から下山途中、最後尾を歩いていた事故者が登山口から約1.5kmの登山道でつまづき、谷側に約30m転落した。 | 肋骨3本骨折・右血胸 |
| 20 | 神奈川県 | 70代女性 1口 | 2022/11/12 04時00分頃 | 海外 エベレスト街道 | 海外トレッキング | 高度障害 | ゴラクシエブ〜ロブチエ下山中に同行者が行動不能となり、高所にて13日朝4時まで行動したところ、自身も高山病となった。14日は休息したが歩行困難であったため、15日朝にゴーキョからレスキューヘリでカトマンスに下山し、入院した。 | 高山病、神経痛(腰) |
| 21 | 静岡県 | 70代男性 5口 | 2022/12/03 13時57分頃 | 小金沢連峰 大谷ヶ丸山 コンドウ丸付近 | 無雪期登山 | 転倒 | 大谷ヶ丸山頂からすみ沢に下山中、コンドウ丸付近で、落ち葉に隠れた根につまづき、頭から転倒。両腕が激しい痛み・シビレに襲われ、歩行困難となる。日没も遠くなく、頭部強打で緊急事態と判断し、119番でヘリ救助依頼。15:27、曲り沢畔で山梨県消防防災航空隊ヘリにピックアップされ、16:00病院に搬送、入院。 | 頸部脊柱管狭窄症・首 |
| 22 | 静岡県 | 70代男性 3口 | 2022/12/03 14時05分頃 | 湖西連峰 神石山 山頂から二川駅に下山 中 | 無雪期登山 | 転倒 | 下山途中、小さな沢を渡ったあとコケに足を滑らせて転倒。 | 頭部打撲 |
| 24 | 神奈川県 | 60代女性 5口 | 2022/11/20 10時00分頃 | 関東・甲信越その他 筑波山 御幸ヶ原コース | 無雪期登山 | 転倒 | 登り道で、下ってきた人に道を譲られた際、少し急いで登ろうとした時に、左足を木の根の間に挟んでしまい、左側に転倒した。その時、たまたま左手に地図を持っていたため、薬指を不自然な形で地面につけてしまった。 | 薬指第一関節部 剥離骨折 |

組織内資料 複写・転載禁止



2023年3月

- 1 遭難対策部会
- 2 機関誌・紙編集委員会
- 4 東京都連盟総会・小池事務局長が来賓として出席
- 5 長野県連盟総会・小池事務局長がオンライン参加
- 同日 愛知県連盟総会・田上理事が来賓として出席
- 同日 滋賀県連盟総会・浦添会長が来賓として出席
- 同日 大阪府連盟総会・川嶋理事長が来賓として出席
- 同日 香川県連盟総会久保副理事長が来賓として出席
- 7 自然保護委員会
- 9 組織部会
- 12 福岡県連盟総会・川嶋理事長が来賓として出席
- 14 三役会議
- 16 ハイキング委員会
- 18 山筋ゴーゴー体操推進委員会
- 23 第13回理事会
- 26 埼玉県連盟総会・久保副理事長が来賓として出席
- 28 労山基金運営委員会

- ① 第35期第1回評議会の結果について:全ての議案が反対なしで可決。議事録を確認し修正があれば事務局へ。
- ② 2023年度理事会の日程と理事の役割分担:6月と11月に拡大理事会を開催、全国連盟事務所に集合し対面での会議を実施する(集まらない場合はオンライン参加も検討)。秋田理事は海外委員会、吉川理事はハイキング委員会を担当する。山筋推進委員会は委員長を宇田川新理事に変更する。自然保護委員会は山本尚徳理事に委員長を依頼する。
- ③ 地方連盟総会について:3月26日の埼玉県連盟総会には久保典子副理事長が全国を代表して出席する。
- ④ その他:2024年労山カレンダーについて、基本部分は継続、曜日の始まりは検討。労山趣意書検討委員会を吉永理事と事務局長が中心となり始動する。

2023年4月の予定: 4登山と山岳文化の教養講座、5遭難対策部会、6山岳安全対策ネットワーク協議会、11自然保護委員会、13組織部会、17ハイキング委員会、18三役会、20機関誌紙編集委員会、22山筋サポーター養成講座@岩手県連、25基金運営委員会、季刊・登山時報発行、27理事会、28行事主催者賠償責任保険締切

2023年6月10・11日 全国組織担当者会議を開催します

主管は福岡県勤労者山岳連盟

各地方連盟の組織担当者が一同に集い、経験を交流し、組織拡大における特有の悩みや課題を率直に語り合い、情報交換することを目的としています。ぜひ代表の派遣をお願いします。

- 日時:2023年6月10日(土)13時~11日(日)12時
- 会場:福岡県立社会教育総合センター
- 参加対象:各地方連盟の組織担当者(1名分の交通費は全国連盟にて負担)
- 参加費:1泊2日4,000円(日帰り交流会参加の場合は1,500円)
- 申込締切:4月28日

『主催者賠償責任保険』

今年は地方連盟だけでなく会・クラブも申し込みいただけます。

詳しくは地方連盟宛へ配信したご案内か、JWAFホームページをご覧ください。

申込締切:4月28日



新しい登山詳細図・六甲山系(東編)が発売されました

労山会員には特価で提供!

守屋二郎さんが作成する人気の「登山詳細図」シリーズに、新編の地図が加わりました。『六甲山系(東編)-六甲山・ロックガーデン・荒地山 全130コース』です。

新編を出すにあたって、守屋さんと協力者が実地に踏査しなおし、縮尺も1/12,500に改めました。用紙代の値上がりを受けて、価格は定価(税込み1320円)と値上がりしましたが、労山会員の皆様には会員特価(1部1,050円+送料110円)で提供いたします。

申し込み:JWAF事務局 メール jwaf@jwaf.jp、FAX 03-3235-4324